

そ の 他

港 勢	219
附属機関	231
技術管理及び調査・研究	232
港湾局所管の東京都政策連携団体等一覧.....	236
索 引	237

令和4年東京港の港勢概況（速報）

[港湾経営部振興課]

1 入港船舶

入港船舶数は21,412隻で、前年比0.8%減（163隻減）であり、増減内訳は外航船150隻減、内航船13隻減となっている。

総トン数は1億4,035万総トンで、前年比3.7%減（542万総トン減）となっている。増減内訳は外航589万総トン減（うち外航コンテナ船500万総トン減）、内航船47万総トン増である。

2 海上出入貨物

海上出入貨物量は、外貨4,752万トン、内貨3,641万トンの合計8,393万トンで、前年比0.9%減（80万トン減）であった。

増減内訳は、外貨12万トン減（輸出79万トン減、輸入67万トン増）、内貨68万トン減（移出140万トン減、移入72万トン増）であった。

（1）外貨貨物の動向

①主要品種

輸出-----「電気機械」、「金属製品」等が増加し、「再利用資材」、「金属くず」等が減少し、輸出全体では前年比6.4%減となった。

輸入-----「木製品」、「製造食品」等が増加し、「家具装備品」、「電気機械」等が減少し、輸入全体では前年比1.9%増となった。

②地域別

輸出----- インドネシア、マレーシア等との取扱貨物量が増加したが、中国、アメリカ等との取扱貨物量が減少した。

輸入----- ベトナム、韓国等との取扱貨物量が増加したが、中国、カナダ等との取扱貨物量が減少した。

（2）外貨コンテナ貨物の動向（TEU：20フィート換算）

コンテナ取扱個数は443万TEUとなり前年比2.5%増ではあったが、引き続き全国1位（25年連続）を維持した。トンベースにおいては、4,625万トンで前年比0.4%増となった。

外貨貨物に占めるコンテナ化率は、輸出は97.8%、輸入は97.2%である。

（3）内貨貨物の動向

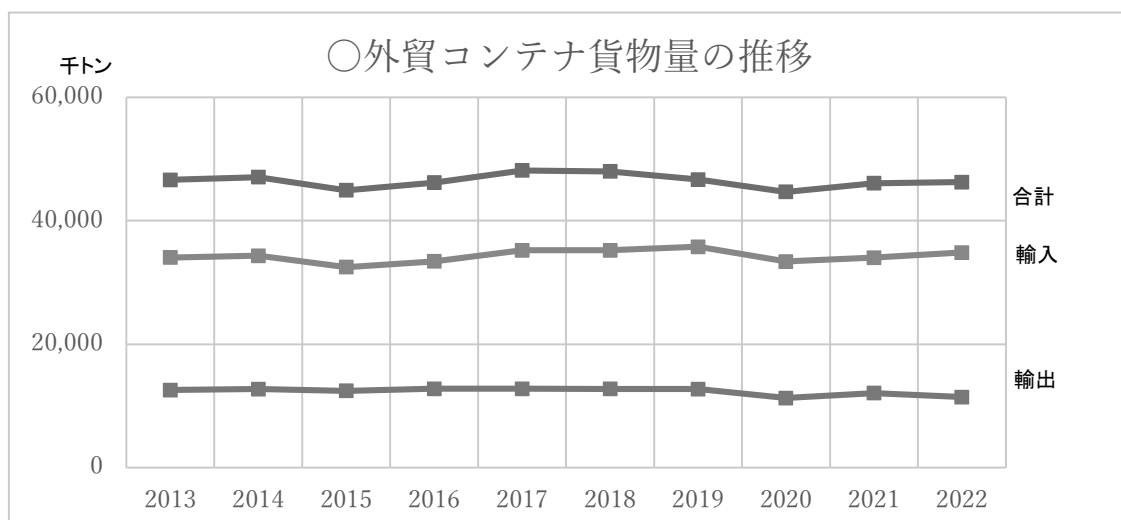
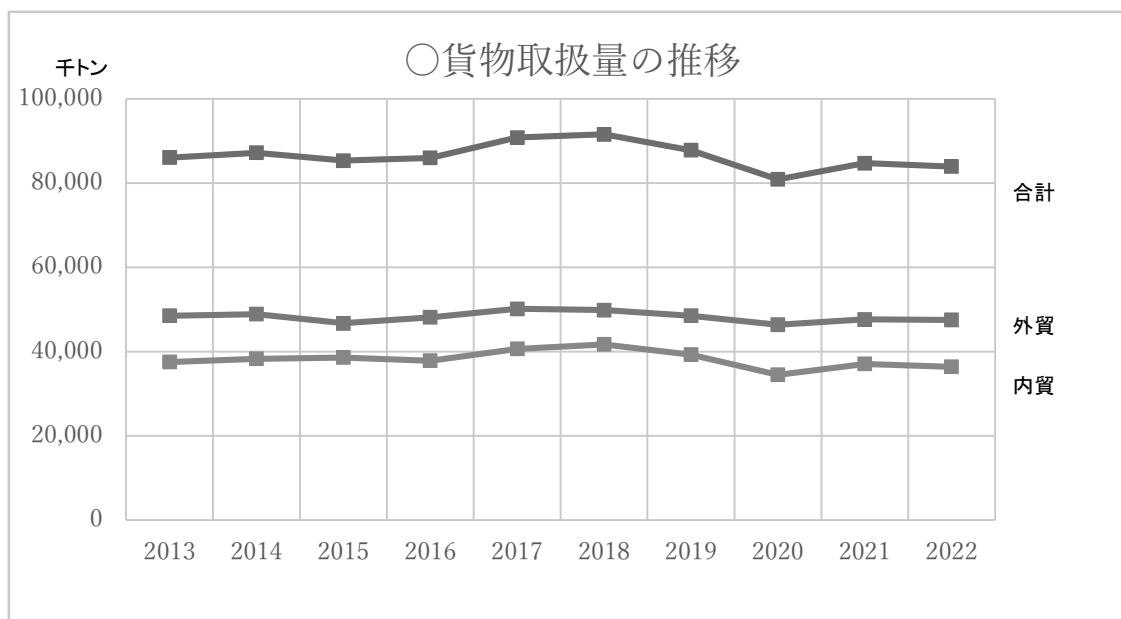
移出-----「製造食品」、「その他日用品」等が増加し、「廃土砂」、「完成自動車」等が減少し、移出全体では前年比9.0%減となった。

移入-----「その他の石油」、「砂利・砂」等が増加し、「完成自動車」、「鋼材」等が減少し、移入全体では前年比3.4%増となった。

（4）内貨コンテナ貨物の動向（TEU：20フィート換算）

コンテナ取扱個数は50万TEUとなり前年比7.1%減であった。トンベースでは214万トンとなり前年比14.6%

減となった。



3 貿易額 (東京税関「令和4年分東京港貿易概況確々報」より)

東京港における外国貿易額は、輸出は、7兆4,699億円で前年比15.0%増となった。輸入では、15兆3,934億円で前年比25.9%増となった。また、輸出入バランスは、7兆9,235億円の輸入超過となった。

東京港港勢指標(令和4年速報値)

● 船 舶

(単位：隻、総トン)

		令和4年速報値	前年実績	増減	前年比	
総 数	隻 数	21,412	21,575	-163	99.2%	
	総トン数	140,350,099	145,768,880	-5,418,781	96.3%	
外 航 船	隻 数	4,423	4,573	-150	96.7%	
	総トン数	94,196,128	100,089,660	-5,893,532	94.1%	
	うちコンテナ船	隻 数	4,235	4,313	-78	98.2%
	総トン数	91,645,837	96,644,008	-4,998,171	94.8%	
内 航 船	隻 数	16,989	17,002	-13	99.9%	
	総トン数	46,153,971	45,679,220	474,751	101.0%	

● 貨 物

(単位：トン、TEU)

		令和4年速報値	前年実績	増減	前年比
取扱貨物総量	計	83,925,539	84,725,398	-799,859	99.1%
出 貨		25,858,949	28,051,019	-2,192,070	92.2%
入 貨		58,066,590	56,674,379	1,392,211	102.5%
外 貿 貨 物	計	47,519,097	47,643,293	-124,196	99.7%
輸 出		11,687,175	12,481,116	-793,941	93.6%
輸 入		35,831,922	35,162,177	669,745	101.9%
うちコンテナ貨物	計	46,251,847	46,080,106	171,741	100.4%
輸 出		11,424,916	12,070,912	-645,996	94.6%
輸 入		34,826,931	34,009,194	817,737	102.4%
コ ン テ ナ 個 数	計	4,432,838	4,325,956	106,882	102.5%
	実入り	3,242,234	3,251,949	-9,715	99.7%
	空	1,190,604	1,074,007	116,597	110.9%
輸 出	計	2,052,727	1,970,397	82,330	104.2%
	実入り	892,118	927,143	-35,025	96.2%
	空	1,160,609	1,043,254	117,355	111.2%
輸 入	計	2,380,111	2,355,559	24,552	101.0%
	実入り	2,350,116	2,324,806	25,310	101.1%
	空	29,995	30,753	-758	97.5%
内 貿 貨 物	計	36,406,442	37,082,105	-675,663	98.2%
うちコンテナ貨物		2,142,156	2,508,765	-366,609	85.4%
うちカーフェリー貨物		10,052,005	10,585,455	-533,450	95.0%
移 出	計	14,171,774	15,569,903	-1,398,129	91.0%
うちコンテナ貨物		1,181,300	1,426,599	-245,299	82.8%
うちカーフェリー貨物		5,059,950	5,324,540	-264,590	95.0%
移 入	計	22,234,668	21,512,202	722,466	103.4%
うちコンテナ貨物		960,856	1,082,166	-121,310	88.8%
うちカーフェリー貨物		4,992,055	5,260,915	-268,860	94.9%
コ ン テ ナ 個 数	計	499,003	536,887	-37,884	92.9%
移 出	計	352,718	380,090	-27,372	92.8%
移 入	計	146,285	156,797	-10,512	93.3%

● 貿 易 額

(単位：百万円)

		令和4年速報値	前年実績	増減	前年比
総貿易額	計	22,863,377	18,721,847	4,141,530	122.1%
輸 出 額		7,469,934	6,493,775	976,159	115.0%
輸 入 額		15,393,443	12,228,072	3,165,371	125.9%

(東京税関「令和4年分東京港貿易概況(確々報)」)

* 端数処理(四捨五入)のため総数と内訳の計とが一致しない場合がある。

外貨貨物 主要品種・国別取扱量

輸 出 貨 物				輸 入 貨 物			
順位	品 種	貨物量(ト)	構成比	順位	品 種	貨物量(ト)	構成比
	合 計	11,687,175	100.0%		合 計	35,831,922	100.0%
1	産 業 機 械	1,969,261	16.8%	1	衣 服 ・ 身 廻 品 ・ は き も の	4,657,216	13.0%
2	そ の 他 化 学 工 業 品	1,940,140	16.6%	2	電 気 機 械	3,569,590	10.0%
3	再 利 用 資 材	1,161,599	9.9%	3	製 造 食 品	2,745,521	7.7%
4	自 動 車 部 品	1,148,687	9.8%	4	そ の 他 化 学 工 業 品	2,363,753	6.6%
5	電 気 機 械	819,590	7.0%	5	家 具 装 備 品	2,121,113	5.9%
6	ゴ ム 製 品	405,856	3.5%	6	そ の 他 畜 産 品	1,640,431	4.6%
7	製 造 食 品	366,064	3.1%	7	産 業 機 械	1,573,092	4.4%
8	金 属 製 品	318,965	2.7%	8	野 菜 ・ 果 物	1,499,475	4.2%
9	金 属 く ず	306,793	2.6%	9	木 製 品	1,493,152	4.2%
10	化 学 薬 品	306,271	2.6%	10	金 属 製 品	1,382,833	3.9%
	そ の 他	2,943,949	25.2%		そ の 他	12,785,746	35.7%

主 要 輸 出 国				主 要 輸 入 国			
順位	国 名	貨物量(ト)	構成比	順位	国 名	貨物量(ト)	構成比
	合 計	11,687,175	100.0%		合 計	35,831,922	100.0%
1	ア メ リ カ	2,576,184	22.0%	1	中 国	15,769,793	44.0%
2	中 国	2,234,672	19.1%		(香 港)	588,921	1.6%
	(香 港)	340,715	2.9%	2	ア メ リ カ	3,208,420	9.0%
3	ベ ト ナ ム	989,407	8.5%	3	ベ ト ナ ム	2,162,285	6.0%
4	台 湾	905,657	7.7%	4	タ イ	2,114,687	5.9%
5	タ イ	814,696	7.0%	5	韓 国	1,780,463	5.0%
6	韓 国	631,672	5.4%	6	台 湾	1,767,233	4.9%
7	オ ラ ン ダ	571,716	4.9%	7	シ ン ガ ポ ー ル	1,337,804	3.7%
8	イ ン ド ネ シ ア	457,003	3.9%	8	フ ィ リ ピ ン	1,265,905	3.5%
9	マ レ ー シ ア	441,492	3.8%	9	カ ナ ダ	1,144,776	3.2%
10	イ ン ド	336,301	2.9%	10	マ レ ー シ ア	917,520	2.6%
	そ の 他	1,728,375	14.8%		そ の 他	4,363,036	12.2%

その他

内貿貨物取扱量・主要品種取扱量

(単位：トン、TEU)

	計	前年比	移出	前年比	移入	前年比
総数	36,406,442	98.2%	14,171,774	91.0%	22,234,668	103.4%
うちカーフェリー車両貨物	10,052,005	95.0%	5,059,950	95.0%	4,992,055	94.9%
カーフェリー車両貨物を除く 内貿貨物	26,354,437	99.5%	9,111,824	88.9%	17,242,613	106.1%
内貿コンテナ貨物(トン)	2,142,156	85.4%	1,181,300	82.8%	960,856	88.8%
コンテナ個数 (TEU)	499,003	92.9%	352,718	92.8%	146,285	93.3%
実入	234,379	89.8%	116,291	91.0%	118,088	88.7%
空	264,624	95.9%	236,427	93.7%	28,197	119.3%

(単位：トン)

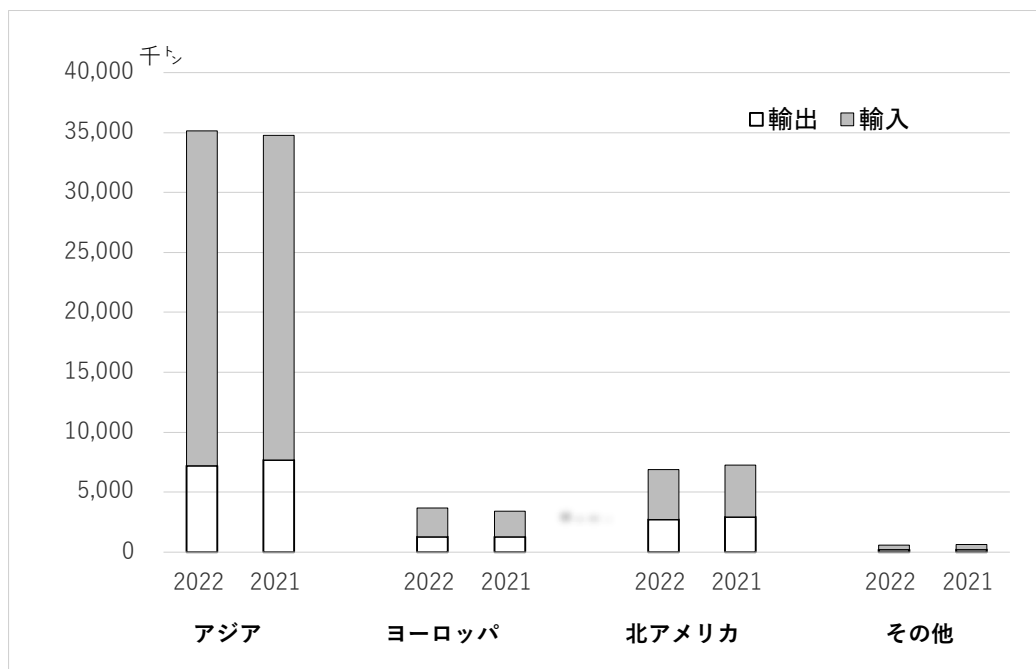
移出貨物					移入貨物				
順位	品 種	貨物量	前年比	構成比	順位	品 種	貨物量	前年比	構成比
	合 計	14,171,774	91.0%	100.0%		合 計	22,234,668	103.4%	100.0%
1	完 成 自 動 車	7,088,870	95.4%	50.0%	1	完 成 自 動 車	5,948,791	97.0%	26.8%
2	取 合 せ 品	2,905,795	94.6%	20.5%	2	砂 利 ・ 砂	3,472,060	111.1%	15.6%
3	廃 土 砂	1,618,787	69.8%	11.4%	3	そ の 他 の 石 油	3,347,476	119.2%	15.1%
4	再 利 用 資 材	281,184	102.3%	2.0%	4	セ メ ン ト	2,448,406	105.8%	11.0%
5	そ の 他 日 用 品	241,444	102.8%	1.7%	5	取 合 せ 品	2,069,280	95.3%	9.3%
6	飲 料	236,264	89.1%	1.7%	6	鋼 材	951,246	89.9%	4.3%
7	重 油	218,220	84.1%	1.5%	7	紙 ・ パ ル プ	945,204	99.3%	4.3%
8	製 造 食 品	176,586	109.1%	1.2%	8	石 材	734,944	111.2%	3.3%
9	産 業 機 械	134,128	82.2%	0.9%	9	輸 送 用 容 器	261,765	101.4%	1.2%
10	輸 送 用 容 器	87,177	103.2%	0.6%	10	重 油	229,131	84.2%	1.0%
	そ の 他	1,183,319	90.6%	8.3%		そ の 他	1,826,365	104.0%	8.2%

その他

外貨コンテナ地域別取扱量

(単位：トン)

		合計	構成比	輸出	構成比	輸入	構成比
合計	2022年	46,251,847	100.0%	11,424,916	100.0%	34,826,931	100.0%
	2021年	46,080,106		12,070,912		34,009,194	
アジア	2022年	35,149,338	76.0%	7,225,419	63.2%	27,923,919	80.2%
	2021年	34,767,738	75.5%	7,673,593	63.6%	27,094,145	79.7%
ヨーロッパ	2022年	3,651,202	7.9%	1,285,466	11.3%	2,365,736	6.8%
	2021年	3,425,932	7.4%	1,270,237	10.5%	2,155,695	6.3%
北アメリカ	2022年	6,880,552	14.9%	2,707,580	23.7%	4,172,972	12.0%
	2021年	7,269,148	15.8%	2,907,113	24.1%	4,362,035	12.8%
南アメリカ	2022年	250,096	0.5%	68,856	0.6%	181,240	0.5%
	2021年	277,341	0.6%	81,391	0.7%	195,950	0.6%
アフリカ	2022年	58,536	0.1%	48,321	0.4%	10,215	0.0%
	2021年	58,043	0.1%	51,911	0.4%	6,132	0.0%
オセアニア	2022年	262,123	0.6%	89,274	0.8%	172,849	0.5%
	2021年	281,904	0.6%	86,667	0.7%	195,237	0.6%



その他

主要港港勢指標(令和4年速報)

(単位：隻、総トン)

		東京港	横浜港	名古屋港	大阪港	神戸港
●入港船舶数	隻数	21,412	30,345	27,598	21,257	26,341
	総トン数	140,350,099	265,868,575	204,487,762	100,971,508	166,285,105
外航船	隻数	4,423	8,230	6,812	4,494	5,937
	総トン数	94,196,128	225,883,663	166,406,481	60,761,644	122,554,032
うちコンテナ船	隻数	4,235	4,422	3,573	3,377	3,708
	総トン数	91,645,837	114,497,846	72,601,499	50,807,584	76,766,518
内航船	隻数	16,989	22,115	20,786	16,763	20,404
	総トン数	46,153,971	39,984,912	38,081,281	40,209,864	43,731,073
うちカーフェリー船	隻数	346	0	177	1,809	2,695
	総トン数	4,372,056	0	2,751,345	24,005,405	23,157,785

(単位：トン、TEU)

●取扱貨物総量		83,925,539	106,219,780	163,568,355	85,556,608	91,633,552
出貨計		25,858,949	43,454,037	69,980,213	30,952,641	39,217,885
入貨計		58,066,590	62,765,743	93,588,142	54,603,967	52,415,667
外貨貨物	計	47,519,097	75,782,155	108,764,397	34,365,899	52,556,513
	輸出	11,687,175	28,918,673	41,936,479	8,493,692	23,052,878
	輸入	35,831,922	46,863,482	66,827,918	25,872,207	29,503,635
うちコンテナ貨物	計	46,251,847	39,976,406	45,829,643	32,373,353	37,891,996
	輸出	11,424,916	15,653,719	21,585,784	7,648,850	17,453,617
	輸入	34,826,931	24,322,687	24,243,859	24,724,503	20,438,379
コンテナ個数 (TEU)	計	4,432,838	2,626,811	2,531,334	2,130,411	2,253,482
	実入	3,242,234	2,130,531	2,154,474	1,522,644	1,867,544
	空	1,190,604	496,281	376,860	607,768	385,938
輸出	計	2,052,727	1,401,418	1,324,411	985,859	1,206,612
	実入	892,118	965,882	1,018,176	396,512	922,300
	空	1,160,609	435,537	306,236	589,347	284,312
輸入	計	2,380,111	1,225,393	1,206,923	1,144,552	1,046,870
	実入	2,350,116	1,164,649	1,136,299	1,126,131	945,245
	空	29,995	60,744	70,624	18,421	101,625
内貨貨物	計	36,406,442	30,437,625	54,803,958	51,190,709	39,077,039
うちコンテナ貨物		2,142,156	2,961,446	351,873	2,009,630	7,014,439
移出		14,171,774	14,535,364	28,043,734	22,458,949	16,165,007
うちコンテナ貨物		1,181,300	1,968,781	234,928	1,560,344	3,258,827
移入		22,234,668	15,902,261	26,760,224	28,731,760	22,912,032
うちコンテナ貨物		960,856	992,665	116,945	449,286	3,755,612

* 端数処理(四捨五入)のため総数と内訳の計とが一致しない場合がある。

(各港・港湾統計速報)

(単位：百万円)

●貿易額	22,863,377	14,973,926	21,210,506	11,315,161	12,061,155
輸出額	7,469,934	8,241,574	14,013,048	5,003,410	7,187,980
輸入額	15,393,443	6,732,352	7,197,458	6,311,752	4,873,174

* 端数処理(四捨五入)のため総数と内訳の計とが一致しない場合がある。

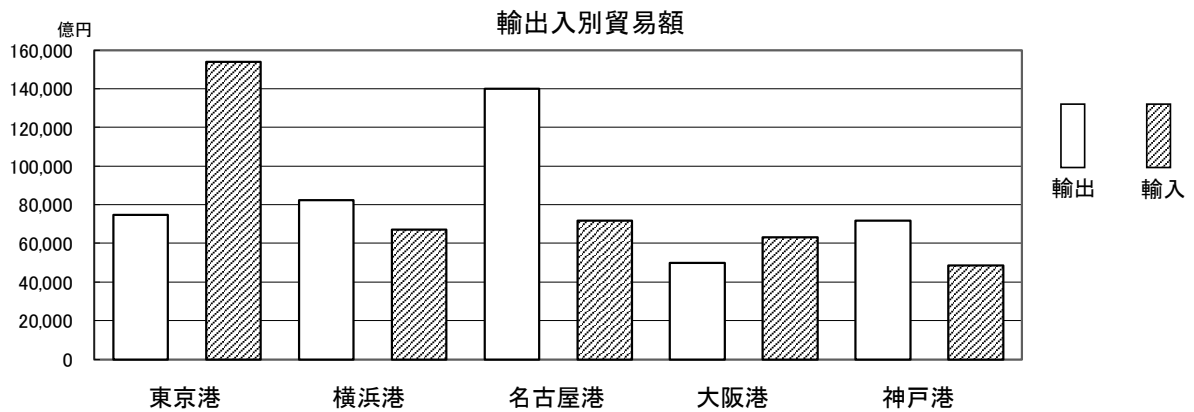
(東京税関「令和4年分東京港貿易概況(確々報)」)

主要港の外国貿易額(令和4年)

(単位:億円)

	東京港		横浜港		名古屋港		大阪港		神戸港	
	価額	前年比	価額	前年比	価額	前年比	価額	前年比	価額	前年比
計	228,634	122.1%	149,740	122.7%	212,105	119.4%	113,152	115.5%	120,612	127.2%
輸出額	74,699	115.0%	82,416	114.1%	140,130	112.3%	50,034	106.5%	71,880	121.9%
輸入額	153,934	125.9%	67,324	135.1%	71,975	136.1%	63,118	123.9%	48,732	136.0%

(東京税関「令和4年分東京港貿易概況(確々報)」)



係留施設別利用状況(令和4年速報)

係留施設	入港船舶表(隻、総トン)						取扱貨物量(トン)		
	合計		外航		内航		合計	外貨	内貨
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数			
合 計	21,412	140,350,099	4,423	94,196,128	16,989	46,153,971	83,925,539	47,519,097	36,406,442
公 共 計	11,241	61,932,002	1,655	24,235,868	9,586	37,696,134	39,695,075	13,422,716	26,272,359
ドルフィン	44	22,815			44	22,815	69,174		69,174
芝浦ふ頭	339	946,239			339	946,239	711,042		711,042
芝浦物揚場	291	134,951			291	134,951	89,757		89,757
日の出ふ頭	86	65,518			86	65,518	39,620		39,620
竹芝ふ頭	1,707	4,578,000			1,707	4,578,000	91,965		91,965
品川岸壁	1,619	18,903,759	783	7,959,938	836	10,943,821	6,674,904	4,188,818	2,486,086
品川コンテナ	829	7,878,891	773	7,824,987	56	53,904	4,156,342	4,156,283	59
品川外貨	10	134,951	10	134,951			32,535	32,535	
品川内貨	780	10,889,917			780	10,889,917	2,486,027		2,486,027
晴海ふ頭	51	78,719			51	78,719			
月島ふ頭	39	12,421			39	12,421	18,453		18,453
漁業基地	22	32,511			22	32,511			
10号西岸壁	856	9,555,578			856	9,555,578	6,495,631		6,495,631
10号東岸壁	444	185,836			444	185,836	418,797		418,797
東京港フェリーふ頭	346	4,372,056			346	4,372,056	10,052,005		10,052,005
多目的ふ頭	15	30,265			15	30,265			
辰巳ふ頭	901	312,837			901	312,837	378,334		378,334
青海コンテナふ頭(公共)	1,240	15,194,417	771	14,804,599	469	389,818	8,925,422	8,781,063	144,359
東京国際クルーズふ頭	17	337,040			17	337,040			
有明ふ頭	50	44,984			50	44,984			
大井水産物ふ頭	4	45,339	3	44,590	1	749			
大井食品ふ頭(OL)	390	477,288	17	411,095	373	66,193	263,318	93,436	169,882
大井食品ふ頭(OM)	52	442,611	52	442,611			99,892	99,892	
大井食品ふ頭(ON)	2	25,300			2	25,300			
若洲内貨ふ頭	137	1,392,666			137	1,392,666	604,644		604,644
15号地木材ふ頭	33	277,241	8	273,420	25	3,821	57,612	57,612	
若洲建材ふ頭	411	236,566			411	236,566	614,002		614,002
大井建材ふ頭	916	509,408			916	509,408	1,363,041		1,363,041
城南島建設発生土ふ頭	748	504,887			748	504,887	1,292,580		1,292,580
中央防波堤内側ばら物ふ頭	85	332,239	21	299,615	64	32,624	295,756	201,895	93,861
中央防波堤内側建設発生土ふ頭	49	64,596			49	64,596	132,054		132,054
中央防波堤内側内貨ふ頭	252	2,667,045			252	2,667,045	1,007,072		1,007,072
官公庁(晴海)	27	101,123			27	101,123			
官公庁(月島)	54	11,289			54	11,289			
官公庁(有明)	14	36,458			14	36,458			
東 京 港 埠 頭 株 計	3,912	70,833,468	2,699	69,239,389	1,213	1,594,079	34,256,035	33,574,915	681,120
青海コンテナふ頭(埠頭株)	218	6,674,116	194	6,657,392	24	16,724	2,964,546	2,930,381	34,165
お台場ライナーふ頭	321	1,556,417	85	1,217,692	236	338,725	322,778	292,738	30,040
大井コンテナふ頭	2,520	49,528,455	1,651	48,361,834	869	1,166,621	24,068,326	23,453,790	614,536
中央防波堤外側コンテナふ頭	853	13,074,480	769	13,002,471	84	72,009	6,900,385	6,898,006	2,379
民 間 計	6,259	7,584,629	69	720,871	6,190	6,863,758	9,974,429	521,466	9,452,963

(注) 実績の無い係留施設は表示なし

島しょ等の港勢

[離島港湾部管理課・計画課]

伊豆諸島港湾港勢

島名	港名	令和2年			令和3年			令和4年		
		入港船舶	乗降客数	貨物取扱	入港船舶	乗降客数	貨物取扱	入港船舶	乗降客数	貨物取扱
大島	元町	隻 1,083	人 48,435	トン 127,158	隻 911	人 15,043	トン 111,303	隻 983	人 26,985	トン 93,658
	岡田	1,939	208,460	33,580	1,988	216,390	31,229	2,017	263,182	28,119
	波浮	469	0	37,886	475	0	41,675	457	0	62,790
	小計	3,491	256,895	198,624	3,374	231,433	184,207	3,457	290,167	184,567
利島	利島	1,166	7,822	28,170	1,252	11,123	29,953	1,381	13,664	20,142
新島	新島	1,280	23,596	70,679	1,338	21,407	87,149	1,345	31,317	95,342
式根島	式根島 (野伏漁港含む)	2,810	17,565	11,719	2,753	21,975	12,459	2,816	33,166	12,719
神津島	神津島	571	15,094	26,006	571	14,322	26,877	614	25,053	23,915
三宅島	三池	408	16,189	27,650	330	13,676	26,178	317	14,232	29,010
御蔵島	御蔵島	482	7,215	24,154	513	8,581	32,763	506	10,679	34,744
八丈島	神湊	752	14,443	128,369	732	14,291	136,309	773	13,666	128,365
	八重根	50	738	24,317	45	720	16,782	86	1,490	25,711
	小計	802	15,181	152,686	777	15,011	153,091	859	15,156	154,136
青ヶ島	青ヶ島	226	1,217	22,270	213	1,047	22,302	214	1,974	10,570
合計		11,236	360,774	561,958	11,121	338,575	574,979	11,509	435,408	565,145

小笠原諸島港湾港勢

港名	令和2年			令和3年			令和4年		
	入港船舶	乗降客数	貨物取扱	入港船舶	乗降客数	貨物取扱	入港船舶	乗降客数	貨物取扱
二見	隻 8,193	人 62,870	トン 60,646	隻 8,424	人 78,068	トン 54,825	隻 8,543	人 100,399	トン 57,951
沖	2,768	22,158	19,904	2,285	22,019	25,086	2,256	24,411	23,220
合計	10,961	85,028	80,550	10,709	100,087	79,911	10,799	124,810	81,171

その他

令和4年 伊豆諸島都営漁港港勢

島名	港名	登録漁船（動力）		利用漁船（動力）		属地陸揚げ	
		隻数	トン数	隻数	トン数	陸揚量	金額
大島	元町	26	65	26	65	11	16
	岡田	41	84	41	84	64	47
	野増	18	34	18	34	(※1)0	0
	差木地	28	78	28	78	(※1)0	0
	泉津	17	22	17	22	(※1)0	0
	小計	130	283	130	283	75	63
新島	若郷	16	113	16	113	40	48
	羽伏	29	153	29	153	1	1
	小計	45	266	45	266	41	49
式根島	野伏	6	21	6	21	42	59
	小浜	18	73	18	73	(※2)0	0
	小計	24	94	24	94	42	59
神津島	三浦	132	970	132	970	314	366
三宅島	湯の浜	26	47	30	56	(※3)0	0
	伊ヶ谷	12	19	11	14	(※3)0	0
	大久保	14	32	8	8	(※3)0	0
	坪田	23	129	40	337	(※3)0	0
	阿古	34	230	104	828	218	234
	小計	109	457	193	1243	218	234
八丈島	洞輪沢	11	44	11	44	2	1
	中之郷	4	17	0	0	(※4)0	0
	神湊	59	384	72	526	516	604
	八重根	36	205	44	308	170	172
	小計	110	650	127	878	688	777
合計		550	2720	651	3734	1378	1548

(※) 四捨五入の関係上、合計値等が合わない場合がある。

(※1) 差木地漁港及び野増漁港の陸揚げはほとんどが波浮港、泉津漁港の陸揚げはほとんどが岡田漁港で行われている。

(※2) 小浜漁港の陸揚げは、ほとんどが野伏漁港で行われている。

(※3) 湯の浜漁港、伊ヶ谷漁港、大久保漁港及び坪田漁港の陸揚げは、ほとんどが阿古漁港で行われている。

(※4) 中之郷漁港の陸揚げは、ほとんどが八重根漁港で行われている。

令和4年 小笠原諸島都営漁港港勢

島名	港名	登録漁船（動力）		利用漁船（動力）		属地陸揚げ	
		隻数	トン数	隻数	トン数	陸揚量	金額
父島	二見	40	277	46	476	374	414
母島	母島	22	143	23	148	117	195
合計		62	420	69	624	491	609

附 属 機 関

当局の事務事業に関して設置されている地方自治法第138条の4に規定する知事の附属機関としては、東京都港湾審議会があり、その概要は次のとおりである。

東京都港湾審議会

〔総務部企画計理課〕

根 拠	港湾法第35条の2 東京都港湾審議会条例
目 的	東京都の管理する港湾の開発、利用、保全及び管理運営に関する重要な事項を調査審議するとともに、東京都海上公園条例に規定する海上公園に関する事項を調査審議する。
所 掌 事 項	知事の諮問に応じて、次の事項を調査審議し、答申する。 ① 港湾法第3条の3第1項の港湾計画に関すること。 ② 港湾法第43条の5第1項の港湾環境整備負担金に関すること。 ③ 海上公園条例第6条第1項の海上公園計画に関すること。 ④ 海上公園の廃止、区域の変更（軽微な変更を除く。）及び管理運営（軽微な事項を除く。）に関すること。 ⑤ そのほか、港湾の開発、利用、保全及び管理運営並びに海上公園に関する重要な事項。
組 織	次に掲げる者につき、知事が委嘱する委員37人以内をもって組織する。 ① 学識経験を有する者 10人以内 ② 港湾・海上公園利用者 9人以内 ③ 港湾区域に隣接する特別区の区長 6人以内 ④ 東京都議会議員 7人以内 ⑤ 関係行政機関の職員 5人以内
任 期	（上記の①②について） 2年
会 長	上記の①の委員のうちから、委員の選挙により定める。
招 集	知事

技術管理及び調査・研究

1 技術管理

〔港湾整備部技術管理課〕

港湾局の所管事業に係る技術分野は、岸壁など港湾特有の施設の建設、大水深かつ高波浪の島しょにおける海上工事、道路工事や公園等の埋立地開発に係る陸上工事、上屋等の建築物や水門等の設備工事、空港整備、これら施設の維持管理など広範にわたっている。

このため、施設の建設や維持管理を担う職員は、土木、建築、電気、機械、造園など多岐な職種により構成されている。

これら事業の推進に当たっては、働き方改革、生産性向上、建設副産物の適正処理や環境対策などの社会的な要請への対応はもとより、ICT技術の進展などに伴う、より一層の適切・効率的な業務執行が求められている。また、地震や津波に関する調査や液状化予測精度の向上など東京港の防災機能の強化、技術の継承と人材育成・技術研修の更なる充実、被災地支援なども求められている。

このような要請に適切に対応し、施設の整備・保全、埋立地の保全管理及び開発を効率的に行うための技術的指導、調査及び研究、支援、技術情報の収集・蓄積及び提供を行う技術管理業務の重要性はますます高まっている。

(1) 工事の施行に関する基準類の整備

多様な局事業を適切に実施するため、東京都工事施行規程に基づき局における実施細目を作成し、調査、設計、施工管理等に関する基準類の整備を行っている。

これらの基準類は法令等の制定・改正、あるいは新材料・新工法等の技術進歩や新たな施策・要請に伴って適宜見直す必要があり、実態に合うよう迅速な対応が必要となる。

基準類の整備は、港湾局技術課題検討委員会にて検討し、国や他局とも調整を図りながら進めている。

積算基準類は、技術革新に適切に対応するため、国等と協力して新工法の歩掛りや新材料・建設機械の仕様等の改定を行っている。

(2) 労務・資材単価の改定

労務単価については、国と共同で公共事業労務費調査を原則として10月に実施し、翌年の4月に単価改定を行っている。

また、資材単価については、市況における実勢単価の変動を定期的に調査し、全庁的に調整のうえ、原則として四半期毎に単価改定を行っている。さらに、毎月開催される関係各局による工事設計単価特別調査検討会により単価調査・検討を実施している。

(3) 技術業務情報の電子化

公共事業のライフサイクル（設計・積算、入札・契約、工事、維持管理）の各段階で発生する各種情報を電子化し、関連事業者との情報交換を円滑にするとともに、各種データベースを有効活用し、事業コストの削減、施工時間の短縮、品質の向上等を図ることを目的とした「電子都庁推進計画」（平成13年度策定）に伴い、当局を含む関係局では、CALS/EC（公共事業支援総合システム）を導入することとなった。

そこで当局においては、上記基本計画の内容について港湾局IT化推進計画に位置づけるとともに、技術系システム検討部会を設け、電子入札の本格運用に対応するためのCAD製図基準を策定し、発注図書の電子化、電子納品の推進のためのガイドラインの策定など、設計図書類等の電子情報化を進めている。

(4) 技術業務情報の提供

港湾工事積算システムのほか、既存の工事関係資料（工事台帳、設計計算書、しゅん功図、報告書）及び各種調査報告書等の技術資料ファイルシステム、東京港の地質データベース及び海象環境データベース、新材料・新工法データベースを作成し、技術情報の保存管理、資料提供により業務の支援を行っている。

なお、これらのデータベースは、システムを適切に維持管理するとともに、適切な情報セキュリティ対策を進めつつ、港湾局ホームページやTAIMS端末から閲覧可能としている。

また、技術資料ファイルシステムについては、しゅん功図書のみならず港湾技術ニュース等を掲載し、技術系職員の業務支援の一助を担っている。

(5) 出願工事の技術審査

港湾区域、港湾隣接地域又は海岸保全区域において、港湾法又は海岸法に基づき申請（協議）されるマンション建設や橋梁の架け替え工事に伴う既設護岸への影響等の確認など、出願工事における技術上の審査を実施している。

また、港湾施設及び海岸施設の機能が保全され、かつ自費工事の目的が達成できるよう技術的調整を図っている。さらに、埋立免許の当初及び変更申請に係る技術的審査を行っており、埋立護岸等の施設の断面の妥当性や構造安定性の確認などを実施している。

(6) 技術の継承と人材育成、技術研修の実施

港湾局では、技術の継承と人材育成のため、建設局の土木技術支援・人材育成センターをはじめ他局の技術管理部門との連携を図りながら、新技術の活用、OJTの推進、港湾技術ライブラリーや技術研修の充実を図っている。

また、ベテラン職員の経験に裏打ちされた高度な技術と豊富なノウハウを活用し、効率的な技術継承を組織横断的に支援する仕組みとして、平成23年に「港湾技術パイロット制度」を創設し、高度な専門技術、豊富な職場経験を有する職員の中から技術指導者としての役割を担う者を、技術パイロットとして認証した。

技術管理課は技術パイロットと連携して、調査、設計、監督、工事安全など各職場における技術的課題に対する助言を行うとともに、技術相談の内容をデータベース化するなど、暗黙知の形式知化を進めていく。さらに、各職場のニーズを踏まえ、研修カリキュラムの充実を図っていく。

(7) 安全管理

港湾局発注工事の事故防止のため、港湾局工事安全委員会にて事故防止策を検討するとともに、東京港及び離島における工事を対象に、特別工事安全機動チームによる工事安全パトロールを実施している。

(8) 重機類情報提供サービス「支援丸」の運用

大規模災害発生時、建設重機を被災箇所に迅速かつ効率的に建設重機を配置し、応急復旧するため、公共工事で使用している建設重機を活用するシステム「支援丸」を構築し、平成28年度から運用している。

2 調査・研究

東京港の整備、埋立地の開発及び各施設の保全を図るためには、埋立地の地盤状況や潮位、波浪等についてのデータを蓄積し、その特性を解析することが不可欠である。

また、東京港の防災機能の強化に向け、地震や津波に関する調査や液状化予測精度の向上が欠かせない。このた

め、必要となる地震、地質、地盤沈下及び海象・環境に係る調査・研究を行うとともに、統計資料の作成を行っている。

これらの調査研究の成果は、都民に公表するとともに、港湾における各施設の建設など、効率的かつ安全性の高い東京港の整備及び埋立地の開発に活用している。

(1) 地震に関する調査・研究

阪神・淡路大震災や東日本大震災では、多くの港湾施設が壊滅的な被害を受け、人々の生活や経済活動に大きな影響を与えた。東京港は、わが国の政治・経済等の中枢機能を担う首都圏を抱えており、災害に強い港湾施設及び埋立地の整備が不可欠である。

このため、大規模構造物や埋立地における施設等の安全設計の基礎資料を得ることを目的とし、地震動の観測・解析を行ってきた。

ア 埋立地の地震観測

東京港の軟弱地盤は、耐震工学的に未解明な部分が多く、また、東京港で観測した地震波形のうち耐震構造計算に用いることができる波形が少ないのが実情である。

このため、地震時の埋立地盤の挙動を把握し、構造物の安全設計の基礎資料となるデータの収集・解析を行うため、昭和42年に品川地震観測所を設置したのを始め、夢の島、有明ふ頭及び中央防波堤内側埋立地などの計12箇所に地震計を設置し地震観測を実施している。

イ 大規模構造物の地震観測

地震時の安全性を確認するため、東京港第二航路海底トンネル、臨海トンネル及びレインボーブリッジについて躯体の挙動（加速度、変位など）の観測を行っている。

(2) 地質に関する調査・研究

東京港の地盤は、建設発生土やしゅんせつ土などの埋立土や軟弱地盤から構成されており、港湾施設の安全性や地盤災害の防止のため、これら埋立地特有の土質工学的特性について検討する必要がある。

このため、当局でこれまで実施してきたボーリングデータを東京港地質データベースとして整備し、土地利用計画、設計業務、地震防災対策の基礎資料として利用している。

また、これらの蓄積されたデータを基に、平成13年6月に「新版 東京港地盤図」を刊行した。

(3) 地盤沈下に関する調査・研究

臨海部の開発、防災計画の策定及び港湾施設の維持管理等を行っていくためには、地盤の沈下状況を把握し、地盤沈下対策の基礎資料を得ることが必要である。

このため、水準測量、地盤沈下観測所における地盤沈下状況を観測している。

ア 水準測量による地盤沈下の観測

東京港の港湾・海岸・埋立施設といった構造物に設置した定点及び埋立地に設置した水準基標について、毎年一級水準測量を実施し、埋立地盤の変動状況を観測している。

本成果は、各種建設工事の基準点としても活用している。

イ 観測井による地盤沈下の観測

埋立地盤の特性である圧密沈下の地層別沈下及び地下水位の動向を把握するため、埋立地全域に6箇所の地盤沈下観測所を設置し、観測井による地盤沈下、及び地下水位を観測し、監視している。

(4) ごみ埋立地盤の調査・研究

ごみ埋立地の開発及び維持管理を行うにあたっては、地盤の安定化、土質工学的特性や建設材料に与える影響を把握することが必要である。

このため、昭和56年から地盤の沈下、地中の温度、ガス発生量、土質工学的特性等の調査を行っている。調査箇所は、夢の島、若洲、中央防波堤内側埋立地及び中央防波堤外側埋立地の4箇所である。

(5) 東京港水域の海象、環境に関する調査・研究

東京港の港湾施設の整備及び埋立地の開発などには、港内の波浪等東京港独自の自然状況等を十分把握しておくことが必要である。

このための基礎資料を得ることを目的に、昭和38年から波浪観測を開始し、昭和44年から今日に至るまで波浪観測を継続して実施している。現在は、波高（周期、波向を含む）、風向、風速、潮位、流向、流速の各項目について観測している。

これら観測されたデータは、港湾局技術情報ホームページ上で、リアルタイムで波浪情報の提供を行っている。

(6) 調査・研究成果の公表

調査・研究の成果として、以下のものを公表している。

- | | |
|---|-----------------|
| ア 東京港のL2地震動データ | ・ ホームページで公表 |
| イ 港湾局地震観測所で観測した地震動 | ・ ホームページで公表 |
| ウ 水準基標測量成果表（港湾地域）（毎年度） | ・ 概要版をホームページで公表 |
| エ 東京港地盤沈下観測調査報告書（毎年度） | ・ ホームページで公表 |
| オ 東京港のごみ埋立地盤の安定化調査について（H13. 5） | ・ 概要版をホームページで公表 |
| カ 東京港波浪観測40年報 | ・ 概要版をホームページで公表 |
| キ 東京港波浪観測年報（毎年度） | ・ 概要版をホームページで公表 |
| ク 東京港波浪観測所データ（波高、風速、潮位等）をホームページでリアルタイムに公表 | |

港湾局所管の東京都政策連携団体等一覧

団体分類	団体名	設立年月日	設立目的	主要事業	所管部課
東京都政策連携団体	株式会社 東京臨海 ホールディングス	平成19年 1月31日	臨海地域というエリアを活動基盤とする各団体を経営統合し、より機動的な事業運営を行うとともに、相互連携による相乗効果を発揮し、東京港の国際競争力の強化と臨海副都心開発の総仕上げの推進体制を一層充実していくことを目的とする。	1 株式を所有することによるグループ会社の経営管理及びこれに付帯する業務等	総務部 総務課
事業協力団体	東京臨海熱供給株式会社	平成2年 8月8日	東京都が発表した「臨海副都心開発事業化計画」に沿い、地域冷暖房システムの整備、運営を行うことを目的とする。	1 臨海副都心における冷暖房プラント及び熱供給管の建設等 2 同地区への熱供給事業	臨海開発部 開発企画課
	株式会社 ゆりかもめ	昭和63年 4月25日	都心部と臨海副都心を結ぶ新たな交通手段として、新交通システムを都と一体となって整備し、鉄道事業法及び軌道法に基づき、一般運輸業を営むことを目的とする。	1 臨海新交通システムの整備、運行及び経営等	臨海開発部 開発企画課
	株式会社 東京レポート センター	平成元年 4月26日	臨海副都心を先導する拠点施設としてのオフィスビル等を建設、運営するとともに、インフラ施設の整備、管理を行う。	1 ビル事業 2 施設管理事業	臨海開発部 開発企画課
	東京港埠頭株式会社	平成19年 10月25日	外貿ふ頭の建設、管理を総合的かつ効率的に行うとともに、東京都が行う業務に協力することにより、東京港の機能の強化と振興を図り、もって外国貿易の増進並びに住民の福祉の向上及び地域経済の発展に寄与することを目的とする。	1 外貿ふ頭事業 2 内貿ふ頭事業 3 建設発生土有効利用事業 4 環境保全事業 5 指定管理者関連事業	港湾経営部 経営課
	八丈島空港ターミナルビル株式会社	昭和55年 7月24日	空港の持つ公共性を担保し、空港利用者のサービスの充実を図り、地場産業の振興に寄与するため、官民一体となってターミナルビルの建設、運営を行う。	1 貸室及び空港施設の賃貸業 2 航空機、航空旅客、航空貨物等の地上取扱業務 3 レストラン業 4 指定管理者関連事業等	離島港湾部 管理課

索引

あ	青海コンテナふ頭	57、59	か	岸壁	49
	アクションプラン	69		官民協力・協議会	82
	有明北地区	152			
い	E D Iシステム	70	き	危機管理	76
				技術管理	232
う	海の森	187		客船ターミナル	51
	埋立事業	127		共同溝	160
	埋立地開発	129		局報こうわん	16
	埋立道路	65		漁港管理者	22
	埋立免許事務	43		漁港漁場整備法	21
	上屋	50	く	クルーズ客船の誘致	73
	運河ルネサンス	74			
	運河エリアライトアップの推進	74	け	計画取扱貨物量	89
え	遠隔制御システム	123		係船くい	49
				係船浮標	49
お	大井コンテナふ頭	58、60		京浜港	70
	大井水産物ふ頭	63		京浜港連携協議会	70
	小笠原諸島の港湾・漁港・空港	210		係留施設	99
	お台場ライナーふ頭	58、61		建設発生土	108、110
	汚泥しゅんせつ	80	こ	広域防災拠点	167
か	カーボンニュートラルポート	81		公共コンテナふ頭	57
	海岸法	21		港勢（東京港）	219
	海岸保全区域	45		港勢（島しょ等）	228
	海岸保全施設	117		港則法	40
	海上公園	179		交通（臨海地域）	136
	海上公園計画	179		交通施設	65
	海上公園構想	179		港内清掃	79
	海上公園事業の現況	188		港務局	18
	海上公園ビジョン	184		公有水面埋立法	21
	海浜公園	180		公有水面の管理	43
	外貿ミッション	72		航路	49
	株式会社東京臨海ホールディングス	162、236		港湾環境整備負担金制度	56
	環境先進都市	162		港湾管理者	18、39

索引

こ	港湾区域	18、40	せ	船客待合所	51
	港湾計画	85		船舶給水	51
	港湾厚生施設	51		船舶電話	52
	港湾事業会計	27		船舶の排出ガス対策	81
	港湾施設使用料	56	そ	S O L A S 条約	22、77
	港湾施設の管理運営	49		組織	6
	港湾施設の整備	99	た	耐震強化岸壁	87、116
	港湾通信施設	52		第4次アクションプラン	69
	港湾物流	69		高潮対策センター	116、121
	港湾法	18		竹芝・日の出・芝浦地区	103
	港湾隣接地域	42		竹芝ふ頭	103
	国際VHF	52	ち	地方港湾	18、39
	国際拠点港湾	18、39		中央防波堤外側コンテナふ頭	58、60
	国際コンテナ戦略港湾	70		中央防波堤外側廃棄物処理場	104
	国際船舶・港湾保安法	22		調布飛行場	207
	国際戦略港湾	18、39		貯木場	51
さ	棧橋	49		沈廃船の処理	80
し	指定管理者	22、51、193		沈木、木皮の処理	80
	指定保税地域	56		長期構想	93
	品川コンテナふ頭	57、59	て	Digital Innovation City	152
	芝浦ふ頭	103		テロ対策	76
	姉妹港	72	と	東京ゲートブリッジ	66
	島のみなとまちづくり	200		東京港港湾施設用地の 長期貸付けに関する規則	134
	事務分掌	9		東京港振興促進協議会	69
	シャーシープール	50		東京港総合渋滞対策	69
	15号地木材ふ頭	63		東京港第9次改訂港湾計画	93
	重要港湾	18、39		東京港第8次改訂港湾計画	88
	しゅんせつ土	109		東京港テロ対策合同訓練	77
	新海面処分場	104		東京港便覧	16、17
す	水面監視業務	78		東京港埠頭株式会社	58、236
	スーパーエコタウン事業	167			
せ	政策連携団体	162、236			

索引

と	東京港保安委員会	76
	東京港防災船着場	116
	東京港臨海道路	66
	東京都海上公園条例	20、184
	東京都漁港管理条例	22
	東京都港湾環境整備負担金条例	20、56
	東京都港湾管理条例	19
	東京都港湾審議会	231
	東京都船舶の係留保管の 適正化に関する条例	20
	東京都入港料条例	19
	東京都の管理する港湾の港湾区域及び 港湾隣接地域における工事等の 規制に関する規則	20
	東京都臨海地域開発規則	134
	東京ヘリポート	53
	東京みなとDX	98
	東京湾岸道路	136
	島しょ等の港湾・漁港・空港・海岸・ 豊洲・晴海開発	199 163
な	内部護岸	118
	NACCS	70
に	入港料	56
の	野積場	50
は	廃棄物処理場	104
	泊地ていけい場	49
	バンプール	50
ひ	日の出ふ頭	103
ふ	物流ネットワーク	69
	ふ頭公園	180
	ふ頭再開発	103

ほ	防災事業	115
	放置艇対策	82
	Port of Tokyo	16、17
	ポートセールス	71
	保税制度	56
ま	MICE	151
も	物揚場	50
や	屋形船のし尿処理	81
ゆ	友好港	72
	夢の島マリーナ	64
	ゆりかもめ（東京臨海新交通）	67、140
よ	予算	27
ら	ラムサール条約	186
り	離島港湾DX	215
	流出油対策	78
	緑道公園	180
	臨海地域開発財政基盤強化プラン	150
	臨海地域開発事業会計	27
	臨海副都心開発	143
	臨海副都心開発の基本方針	144
	臨海副都心まちづくりガイドライン	143
	臨海副都心まちづくり推進計画	144
	臨港地区	42
	臨港道路	65、101
	臨港道路南北線	136
れ	レインボーブリッジ	65
よ	要緊急対処特定外来生物（ヒアリ類） の侵入・定着防止	82